

平成 27 年 10 月 14 日
国土交通省 国土技術政策総合研究所

全国の 10 港湾の潮位データを用いて長期的な平均海面水位の変動を解析しました

全国の港湾では、航路等の基準面の水位を確認するために、継続的に潮位観測を行っています。沿岸防災研究室では、全国の 10 港湾を対象に潮位観測データを用いて、長期的な平均海面水位の変動を解析し、国総研資料No.855「港湾の長期検潮記録から地盤変動を除去した平均海面水位の推定とその変動特性」にとりまとめました。このうち最も観測期間の長い久里浜湾（横須賀港）では、50 年以上の間にわたって継続的に観測を行っています。

港湾部は埋立地が多く、地盤沈下等による基準面の変動が大きいという特徴がありますので、解析にあたっては地盤変動を考慮して水位の値を求める方法を設定しています。

各観測地点の平均海面水位の変動やそのトレンドを解析した結果、変動特性は地点ごとに特徴を持つことや、その特性には十年から数十年周期の長期的な変動を含んでいること等を明らかにしました。沿岸防災研究室では、今後とも継続的に様々な視点から海面水位の変動やその与える影響について研究を進めていきます。

※ 本検討結果をとりまとめた国総研資料は国総研HPにて公表されていますので、詳細については<http://www.nilim.go.jp/lab/bcg/siryou/tnn/tnn0855.htm>をご確認ください。

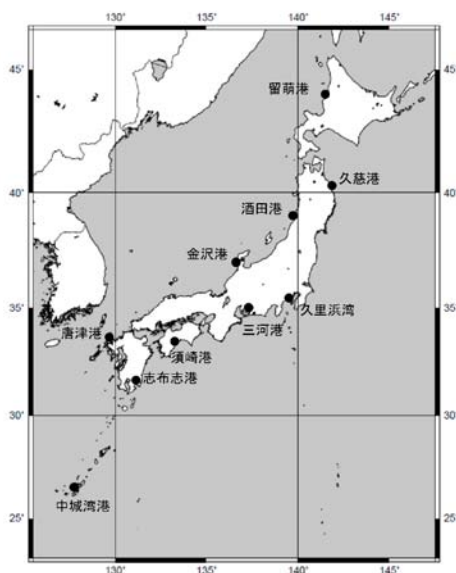


図 解析の対象とした観測地点

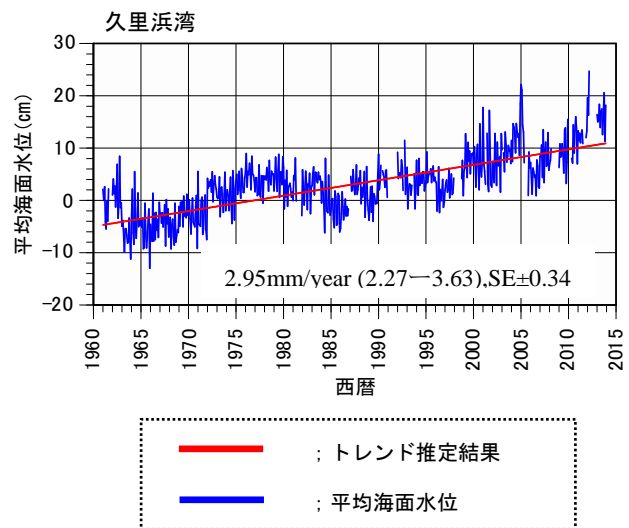


図 平均海面水位とそのトレンドの解析例
(観測地点：久里浜湾（横須賀港）)

【問い合わせ先】

国土交通省 国土技術政策総合研究所

沿岸海洋・防災研究部 沿岸防災研究室 浅井・内藤

(代表)046-844-5006(内線 3230, 3222) (直通)046-844-5024 (FAX) 046-844-5068